

いろいろな川の形

作成日:2019.1.28

作成者: 薦田莉奈

対象:4歳児きく組



ねらい:川を様々な視点から見て、気づきや発見を自分なりに表現すること楽しむ。

【保育の振り返り】

お寺の鯉を見に行った時、手拍子が餌の合図だと知った子ども達。水中にいる魚にも音が聞こえるのかもしれないという事に驚いていました。鯉の様子を絵に描くと水の流れ、周りにあった草花も描かれていて様々な視点から発見があった事がよく分かりました。(自然との関わり・生命尊重)6月には川へ散歩に行き、身近な自然物を使って走る、跳ぶ、投げる、叩く等子ども達のアイデアから生まれた音を録音しました。(健康な心と体)(豊かな感性と表現)後日その音を聞いて、音を絵に表現しました。音の大きさを絵の大きさを表現したり、インパクトのある音は紙いっぱい塗ったりと工夫が見られました。作品展では年中さんで川の上流、中流、下流を描きました。きく組では中流を描き、流れの速い所と穏やかな所を絵の具の濃淡や筆の運び方で表現しました。身近な材料を貼っているのは水中の気泡や水しぶきです。子ども達の感じたそのままの表現をお楽しみください。